

令和2年第1回糸魚川市議会定例会会議録 第3号

令和2年3月3日（火曜日）

議事日程第3号

令和2年3月3日（火曜日）

〈午前10時00分 開議〉

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 一般質問

本日の会議に付した事件

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 一般質問

〈応招議員〉 19名

〈出席議員〉 19名

1番	平澤惣一郎君	2番	東野恭行君
3番	山本剛君	4番	吉川慶一君
5番	中村実君	6番	滝川正義君
7番	佐藤孝君	8番	新保峰孝君
9番	田原実君	10番	保坂悟君
11番	笠原幸江君	12番	斉木勇君
13番	高澤公君	15番	田中立一君
16番	古川昇君	17番	渡辺重雄君
18番	松尾徹郎君	19番	五十嵐健一郎君
20番	吉岡静夫君		

〈欠席議員〉 0名

〈説明のため出席した者の職氏名〉

市長 米田 徹君 副市長 藤田 年明君

総務部長	山本 将世 君	市民部長	五十嵐 久英 君
産業部長	見辺 太 君	総務課長	渡辺 成剛 君
企画定住課長	渡辺 孝志 君	財政課長補佐	嵐口 守 君
能生事務所長	土田 昭一 君	青海事務所長	穂 苺 真 君
市民課長	小林 正広 君	環境生活課長	高野 一夫 君
福祉事務所長	川合 三喜八 君	健康増進課長	池田 隆 君
商工観光課長	大嶋 利幸 君	農林水産課長	猪又 悦朗 君
建設課長	五十嵐 博文 君	復興推進課長	斉藤 喜代志 君
会計課長 会計管理者兼務	山口 和美 君	ガス水道局長	樋口 昭人 君
消防長	丸山 幸三 君	教育長	井川 賢一 君
教育次長	磯野 茂 君	教育委員会こども課長	磯野 豊 君
教育委員会こども教育課長	泉 豊 君	教育委員会生涯学習課長 中央公民館長兼務 市民図書館長兼務	小島 治夫 君
教育委員会文化振興課長 市民会館長兼務	伊藤 章一郎 君	監査委員事務局長	渡辺 一彦 君

〈事務局出席職員〉

局 長	松木 靖 君	次 長	山川 直樹 君
係 長	上野 一樹 君		

〈午前10時00分 開議〉

○議長（中村 実君）

おはようございます。  
これより本日の会議を開きます。  
欠席通告議員は、ありません。  
定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。

日程第1．会議録署名議員の指名

○議長（中村 実君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。  
会議録署名議員には、1番、平澤惣一郎議員、20番、吉岡静夫議員を指名いたします。

日程第2．一般質問

○議長（中村 実君）

日程第2、一般質問を行います。

昨日に引き続き、通告順に発言を許します。

田原 実議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。〔9番 田原 実君登壇〕

○9番（田原 実君）

おはようございます。糸魚川21クラブの田原 実です。

通告書に基づき、以下の点を伺います。

1、地域医療の現状と課題、8050問題、産婦人科確保への対応について。

(1) 糸魚川市が主催した地域医療フォーラム「8050問題を考える」の内容と成果について伺います。

(2) 社会に居場所をつくれずに「ひきこもり」状態の人を社会問題としたり、就労と自立だけを成果とする支援から、その人その人が幸せに生きていくことに寄り添う支援へと、意識と対応を変えていく必要があることをフォーラムの講師の話聞いて知りました。行政もこの点を課題として策を講じる必要があると思います。

糸魚川市のこれからの対応を伺います。

(3) 人口減少の影響が最も心配される産婦人科の存続について、出生数、医療機関の現状と課題、市の施策と成果について伺います。

(4) 糸魚川市で暮らす、働く魅力を打ち出し、医師、看護師、医療スタッフに移住、定住していただくための、市の施策とこれまで成果について伺います。

(5) 出生数の確保や医療スタッフの確保には、何よりも糸魚川市の人口を増やすことだと医療関係の方から意見をいただきました。実際には人口を増やすことは困難ですが、急激に減らさないことで、医療機関の安定的な運営を持続させる計画と実行が現在の糸魚川市にあるか伺います。

2、相馬御風顕彰と都市交流について。

本来、相馬御風先生と申し上げるところを、相馬御風、あるいは御風とさせていただきますことをお許しいただきたいと思います。

(1) 平成28年3月の一般質問でも相馬御風顕彰を取り上げましたが、4年間の相馬御風顕彰の動きと成果について伺います。

(2) 奴奈川姫伝説やひすいの再発見など、糸魚川の魅力探求の祖とも言える相馬御風の功績の紹介がまだまだ不足していると感じます。今後の取組について伺います。

(3) 糸魚川の大火の歴史と御風の生涯について伺います。

(4) 昭和7年の大火からの復興を祝い昭和11年につくられた相馬御風作詞、中山晋平作曲の「糸魚川小唄」は、私たち市民の心のふるさとです。再度光を当てて、かつてのように市内各所で、いろんな場面で「糸魚川小唄」を踊ることを勧めてはいかがでしょうか。市民の健

康増進と交流に役立つと思います。「小唄で元気なまちづくり」を提案しますがいかがですか、伺います。

(5) 時代に合わせた新しい切り口で御風顕彰を進めるべきです。御風の生涯と功績をアニメやコミック誌で紹介し、テレビなどのドラマ化を目指してほしいと以前担当課に提案したことがありますがいかがですか、伺います。

(6) 御風顕彰の推進により交流人口を増やすことが可能です。市長が以前に議会答弁の中で触れた、塩尻市、高岡市との短歌でつながる都市交流もその1つですがいかがですか、伺います。

3、糸魚川駅を拠点とする観光戦略、鉄道ジオラマ、フォッサマグナミュージアム、谷村美術館、押上ヒスイ海岸、駅周辺飲食店等の活用と経済効果、HAKUBA VALLEYとの観光連携について。

(1) 糸魚川駅を拠点とする観光戦略における地域資源連携の重要性について、市長行政の認識と対応を伺います。

(2) ジオパル内鉄道ジオラマとトワイライトエクスプレスレプリカの活用について伺います。

(3) 蒸気機関車くろひめ号を走行させることで誘客がさらに増えると思い提案しますがいかがですか、伺います。

(4) フォッサマグナミュージアムと長者ヶ原縄文遺跡の活用について伺います。

(5) 翡翠園・玉翠園・谷村美術館の活用について伺います。

(6) 押上新駅周辺と押上ヒスイ海岸の活用について伺います。

(7) ヒスイ王国館と駅周辺飲食店の活用について伺います。

(8) HAKUBA VALLEYとの観光連携について伺います。

(9) 公共交通の利便性向上について伺います。

(10) 新幹線による観光振興と地域経済の好循環について伺います。

以上、1回目の質問です。よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田原議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、260名の参加があり、ひきこもり状態の方への支援について、正しい理解を広めたものと捉えております。

2点目につきましては、フォーラムに続き、広報でもひきこもりに関する特集を行ったところであり、ひきこもり状態にある方や家族を受け止める環境づくり、相談しやすい体制の構築に取り組んでまいります。

3点目につきましては、今年1月末現在の出生数は、186人となっております。産婦人科医師の確保が課題となっておりますが、市内産婦人科利用促進プロジェクトの取組が評価され、医師2名体制が維持されております。

4点目につきましては、修学資金の貸与が、医師や看護師等の医療人材の確保に成果を上げてい

ると考えております。また、関係機関と連携して、医療系の大学等を訪問し、市の支援体制など、情報提供を行っており、市内就職に結びつくなど一定の成果が得られております。

5 点目につきましては、人口の減少は病院の診療科や医療スタッフの確保に影響を及ぼすものと認識しており、急激な減少を起ささないよう、引き続き減少対策に取り組むとともに、地域医療体制の確保に向けた取組を継続してまいります。

2 番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

3 番目の1 点目につきましては、観光戦略における地域資源は重要であると考えております。その拠点が糸魚川の駅であると認識いたしております。

2 点目につきましては、ジオパルでは、鉄道を中心に様々な取組を進めているところであり、トワイライトエクスプレスは、車両内部が非常にリアルに再現されていることから、プレミアム感を出しながら誘客を図りたいと考えております。

3 点目につきましては、車両自体の老朽化が進んでおり、走行するのは断念いたしましたが、しかし、現在、かなり老朽化しとるわけでございますので、一定の整備はしたいと思っております。

4 点目につきましては、ユネスコ世界ジオパークの拠点であり、また、ひすい文化を発信する重要な施設として活用しております。

5 点目につきましては、日本を代表する3 人の巨匠による建築・彫刻・庭園が結集した他に類を見ない施設であり、大切に活用したいと考えております。

6 点目につきましては、地元の熱意により実現した駅であり、地元の皆様と活用について検討してまいります。

7 点目につきましては、糸魚川駅に隣接している駐車場を有し、飲食や土産品が提供できる場所であり、周辺の飲食店とともに来訪者からご利用いただきたいと考えております。

8 点目につきましては、北アルプス日本海広域観光連携会議やシーフードシャトルバスなどにより、連携を進めているところであり、引き続き広域観光連携を進めてまいります。

9 点目につきましては、糸魚川駅を拠点として地域資源を効率的に巡ることができるバス路線を、鉄道と乗継ぎに配慮し、利便性向上に努めております。

10 点目につきましては、新幹線を使って、多くの皆様からおいでいただくことにより、地域経済の好循環につながるものと考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

おはようございます。田原議員の2 番目のご質問にお答えいたします。

1 点目につきましては、御風宅の大改修や御風の糸魚川帰住・良寛研究百年事業などの取組、さらに早稲田大学へのゆるキャラ訪問により、新たな周知ができたことなどを一定の成果として捉えております。

2点目につきましては、フォッサマグナミュージアムなどで紹介しており、今後も功績の周知に努めてまいります。

3点目につきましては、御風宅は2度、大火で焼失しており、その都度、再建されております。亡くなるまで良寛研究や執筆、作詞など様々な活動に没頭されていたものと考えております。

4点目につきましては、糸魚川小唄保存会とともに今後、検討してまいります。

5点目につきましては、功績を周知する新たな手段の1つとして検討してまいります。

6点目につきましては、隔年で開催している短歌大会、俳句大会を継続し、全国から訪れていただけよう情報発信に努めてまいります。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

地域医療の現状と課題です。フォーラムの参加者が260名ですか、多くの市民が関心を持って講師の池上先生のお話を聞き、8050問題やひきこもりの現状と課題を理解し、また、認識を改めたと思います。ひきこもり状態の方への支援について、意識と対応を変えていく必要があるというところの行政の認識を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

おはようございます。

ひきこもり状態にある方に対して、当事者を理解し、寄り添いながらも、ともすれば社会との関わりを持つこと、いかに就労、自立することを趣に置きながら、これまで対応してきたのでないかなというふうに考えております。

しかし、ひきこもりにある背景だとか要因については、一人一人異なり、家族全体が孤立の中で苦しみ、声さえ上げることができないでいること、また、ひきこもっている当事者にとって、それが最善の選択であって、当事者も社会と関わりを持ちたいというふうに考えていること、その方に就労を進めるということは、駄目押しの対応であること、一人一人の声に寄り添った生き方支援が求められとる。そういう認識を持たせていただきました。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

フォーラムに合わせる形で、広報2月号でもひきこもりの悩みを抱えていませんかとして特集が組まれました。この流れは、市長の思いも強くあってということですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

この問題については、デリケートな問題でもありまして、これまで各方面で大きく取り上げてこなかったテーマでしたけども、1月26日の地域医療フォーラムで8050問題を取り上げたことを機に、ひきこもりで孤立し、悩んでおられる方、また、その周りの方に届けたいということで、今回、広報いといがわで特集を行ったところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

子供さんが外に出ていけない当事者の方から、今回の取組に感謝の言葉をいただいています。そのことをこの場でお伝えし、市長に感謝申し上げます。

その上で、課題を掘り下げながら質問を続けます。

市内でひきこもりの悩みを抱えている方は、どのくらいおられますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

平成30年に内閣府が公表しました40歳から64歳までの推計につきましては、61万3,000人で、それを基に当市を推計しますと200人程度の方がおられる推計値になりますが、実際の人数については把握をしておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

これまでの問い合わせや相談の数は、幾らぐらいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

市への相談件数であります。昨年度は5件、今年度は14件です。今年度に入り、関係者からの相談でありますとか、情報提供が増えておるということを実感しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

市長答弁にありました相談しやすい体制の構築について伺います。

広報の4ページ、相談支援の流れに、まずはご相談くださいとありますが、たくさん窓口があっ

て、逆にどこに相談したらいいかわからないと。メールでの問い合わせ先がない。年齢で区分があるのか、ないのか、どうなってるかわからないですね、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

相談窓口につきましては、市であれば健康増進課が窓口になります。市に相談したくない方もいらっしゃると思いますので、糸魚川地域振興局、それから、県の相談窓口にご相談していただけるように周知させていただきました。年齢での区分はありませんけども、お話をお聞きした上で、適切な相談窓口におつなぎさせていただいております。

メールでの相談につきましては、タイムリーに回答できないこともあり、掲載しておりませんが、今後、メールでの相談方法についても検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

相談対応の仕組みづくりに、相談したい側の意見が入っているかということですよ。問い合わせは今、メールが主になっていますし、電話や施設へ行っての相談は、ハードルが高くなります。それと、相談支援の流れを年齢や担当部署や担当施設で分断しないということですね。二十歳までしか相談できないという線引きはありませんか。39歳までしか相談できないという線引きはありませんか。あるいは、65歳未満は支援の対象から外れるということはありませんか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

支援を求めている方については、児童生徒であったり、障害をお持ちであったり、生活困窮であったり、またその家族であったり、年齢や置かれている立場、状況が異なりますので、関係機関、関係部署が、今後の連携を強化して対応しなければならないというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

当事者や相談者を行政側の都合で枠に当てはめて、切り刻んでしまわないように、相談と支援の流れが途切れないように、誰が見てるかというところがポイントです。この点を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

まず、健康増進課の保健師が相談を受けることにしており、相談によっては一番適切な部署へつなぐ、または関係部署がチームとして支援を継続するというような対応をしております。今後も引き続き、そのような対応で支援をしたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

保健師さんから専門の部署と、あるいはチームにつなぐというご答弁でしたが、私、これが一番大事かと思いますが、行政のそれぞれの部署、教育委員会、健康増進課、福祉事務所に相談対応のキーパーソンとなる職員がいるかどうか、相談者や当事者を尊重して寄り添うことができる職員がいるかどうか、その点を伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

ひきこもりへの対応につきましては、大変デリケートでケースによって一つ一つ状況が異なります。その当事者や家族を理解して、継続的に支援に携わる、そういう人材、田原議員おっしゃることだと思います。引き続き関係者のスキルアップに努めながら、その支援に努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

よろしくをお願いします。

広報に家族の不安を支える家族会の全国組織が紹介されています。詳細を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

KHJ全国ひきこもり家族会連合会、NPO法人KHJにいがた「秋桜の会」上越支部を紹介させていただきました。新潟市に拠点を置き、当事者の方が運営しておる団体であります。上越をはじめ、県内6か所で月1回、ひきこもり当事者やその親、家族のための相談会やセミナーを開催しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

糸魚川に家族会はないのでしょうか。安心して情報を交換したり、学んだりできる場合は、必要だ

と思いますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

現在、当市には家族会というのはございませんけども、同じ悩みを抱える家族が情報交換をする場、その必要性については、十分感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ここで、子供さんが外に出ていけない当事者の市民の方から頂戴したご意見を紹介します。

私の娘は、中学校のときにクラスの男子にからかわれたことがきっかけで不登校になりましたが、高校には進学しました。しかし、アルバイト先で能力以上のことを求められ、挫折し、これが仕事をするための自信を失う経験となってしまい、カウンセラーの勧めと本人の意思で、精神科で鬱病や発達障害の検査を受け、治療の必要はないと言われましたが、カウンセリングに通っています。そこで発達障害の兆しがあることがわかり、1つのことを続けるのが苦手なのは、そのためではないか。自分以外のひきこもりの人にそういった特性を持つ人が少なからずいるのではないかと本人が語るのを聞き、納得するものがありました。今後は、それが娘の特性で、そういう生きづらさを抱えていると理解し、対処しようと思っています。

私は仕事柄、いろんな家庭に伺いますが、ひきこもっている人が多いことに驚きます。世間は、本人の努力が足りないとか、親に経済力があるから甘やかしているなどの評価をしますが、本人の特性で、外に出て生きづらい人もいる事実を理解してほしいと思います。本人を外に出すことを強制はできません。まず、親が外に出て、親の会などでほかの人の体験を聞いたり、意見交換をすることがよいと思います。まずはそういった場で、定期的に会を開いてほしいです。できれば、働く親の都合に合わせて、夜間や休日にも会を開いてほしいです。本人をそのような会に連れていくのは、その後です。私たち親子のように様々なチャレンジが経験となっていることが、皆さんにもあると思います。それを共有する取組は、役立つと思います。また、ひきこもりの人や親を支援したい方も社会におられると思います。そのような方を集め、支援組織をつくっていただけたらと、私は思いますというご意見です。

この方と会って、お話を聞き、フォーラムの講師のお話を聞き、私なりに考えたことを2つ、提言させていただき、行政の対応を伺いたいと思います。

1つは、家族会や支援者と連携した安心できる居場所づくりです。これは、市町村が手を挙げれば補助を受けられる厚生労働省の支援事業もあるとのことですので、ぜひ取り組んでいただきたい。市長いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

安心できる居場所づくりは、必要なものと考えられます。立上げに最も必要な課題については、運営できる組織づくり、また、人材確保であるというふうに認識しており、当事者の方々の要望もお聞きしながら検討したいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

検討して進めるということによろしいんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今ほど答弁させていただきましたように、必要なものというふうに考えておりますので、検討して、少しでも前に進んでいきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

もう一つの提案ですけども、当事者及び家族が一方的に支えられるだけの関係でなく、支える側に回れるような社会の仕組みをつくるということです。先頭に立って、ぜひ取り組んでいただきたい。市長いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

当事者の方から、経験を生かして支援をいただくということは、支えていただく側にとっても最も望ましいというふうに考えられます。関係する方々からご意見を伺いながら、進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

市民に寄り添う支援を進めていただきたいと思います。

そこで、最後に市民部長に伺いますが、この一連の相談支援事業の行政の責任者はどなたですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐市民部長。〔市民部長 五十嵐久英君登壇〕

○市民部長（五十嵐久英君）

おはようございます。

相談支援業務につきましては、主管課というものについては、今ほど一連答弁したとおり、健康増進課というふうになるというふうに思っておりますけども、生活支援、高齢者の支援という福祉事務所の部門も非常に多く関わってくることから、総括的な責任者ということになれば、私、市民部長になるかというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

市民部長であるとお答えいただきました。期待しております。よろしくお願いいたします。

では、産婦人科の存続について、2回目の質問です。

糸魚川総合病院の分娩数が、200を切ると産婦人科が維持できないと言われてきました。

でも、この先この数字の確保は、難しいんじゃないでしょうか。担当課はどのように分析し、対策を取っていますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

糸魚川総合病院の分娩数につきましては、平成30年度は157人で、令和元年度も同じ程度の数字になるというふうに推計しておりますけども、少子化が進行する中で、現在の分娩数を確保する、これについては、大変困難であるというふうに考えております。分娩件数の確保のため、現在行っております市内産婦人科利用促進の取組、これをより効果的に実施していく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

いろんな取組を市もしていただいていることは、私わかっております。里帰り出産をしてくださる方を増やす。それから、様々なお祝いの制度、これが非常に好評なんですけども、ただ、分娩数200にこだわらないように、医師派遣元に働きかけるなどの努力も必要かなと思います。いずれにせよ、今後相当なテコ入れをしないと、この先の産婦人科確保は難しいと考えていかなければならないと。

したがって、出産される方やご家族への働きかけを行政からもさらに頑張っていたいただきたいと思います。ですが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

現在行っております出産奨励金の交付でありますとか、赤ちゃん似顔絵プレゼント、産婦の方への食事サービスなど、糸魚川市で出産することのメリットをさらに周知させていただいて、市内産婦人科の利用を広く呼びかけていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

市外で出産する方を呼び戻すという取組ですよ。

それともう一つ、これは提案ですけども、近隣市町村の白馬や小谷へのアプローチとか、産後ケアに力を入れていくとか、糸魚川で出産したいと市外の方に選んでいただく戦略を考え、実行していきませんか、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

今、有効な手段の1つであるなというふうにお聞かせをいただきました。近隣市町村の方にも、糸魚川の産婦人科利用をしていただくということは、重要であるというふうに考えております。糸魚川で出産するメリットにつきましても、市外にも周知していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ぜひよろしく願いいたします。

市民厚生常任委員会で、1月21日に糸魚川総合病院へ伺い、地域医療の状況を樋口病院長から丁寧な説明をいただきましたが、長期展望に立てば、2030年を見据えて、病棟のダウンサイジングや外来対応の選別は避けられない。そこで専門医療をどこまで残すかが課題とされました。安心して子供を産むには、総合的な医療体制のバックアップも必要です。この点について、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

安心して出産できるためには、産婦人科、小児科といった診療科や妊産婦の救急対応など、出産を支える医療体制の確保というのが必要であります。病院が取り組みます医療スタッフの確保に対する助成や、大学に対し医師派遣の要望を継続するなど、診療科の確保に今後も引き続き努めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

総合的な医療体制の確保には、医師、看護師、医療スタッフに糸魚川に定着していただく必要があり、それには糸魚川総合病院から魅力ある医療機関となっただけでなくことが求められていきます。そのため市の施策について確認したいので、いま一度担当課よりご説明願います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

病院の魅力の1つとして、医療スタッフの研修が充実していることも該当すると考えておりますけども、市では、病院の医師、看護師のスキルアップ、資格取得のための研修費への助成を行っております。

また、糸魚川総合病院では、高校生の1日病院体験やインターンシップの受入れを行っており、地元で将来、医療スタッフとして働く人材の確保を目指す取組も行われておるところであります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

地元で安心して産める医療体制、ぜひとも、これからも取り組んでいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

では、相馬御風顕彰の2回目の質問です。

教育長に伺います。相馬御風先生を顕彰する意義、あるいは意味をどうお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

お答えいたします。

糸魚川を語る上で、その生き方も含めて、とても重要な偉人だというふうに捉えています。また、大火に複数被災されたり、ひすいの再発見に関わるなど、歴史上でも重要な人物というふうに捉えています。そういったことをしっかり世代を超えてつなげていく、それが顕彰の意義だというふうに思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

教育長、教育委員会の課長さんは、どのように相馬御風の功績を学んでおられますか。以前、紹介した金子善八郎先生の著書「相馬御風」と相馬御風の著書「良寛さま」、これは皆さん読まれま

したか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

お答えいたします。

両方読ませていただいております。その中で、金子善八郎先生が書かれた「相馬御風」という著書は、やはり生い立ちから晩年まで詳しく書かれていて、多くの人から手に取って読んでいただきたい本だというふうに思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

4年間でどのような顕彰事業があり、その成果はどのようなものであったか、担当課に伺います。相馬御風宅の有効活用、歴史民俗資料館の展示、プレゼンテーション、接客談話の工夫、糸魚川市民図書館の展示の改善は、進みましたか。結果として、御風宅、歴史民俗資料館、図書館の入館者数は、増えましたか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

4年間の実績ということでございますが、昨年6月につきましては、文化協会主催の市民茶会で、御風宅を活用しまして昭和初期の花嫁衣装ミニ展示を行っていただいております。また、3月と11月には、新潟お茶フェスというフェスティバルの会場として利用させていただきました。また、大火後ですが、復興のイベントで活用してきた経緯があります。

今年度につきましては、大火関連の事業でミニ講話を開催いたしました。講話につきましては、消防の職員と当課の学芸員が行ったもので、消防の職員につきましては、大火の振り返り、火災の状況ですとか、鎮火後の状況を映像で振り返ったものでございます。また、学芸員につきましては、大火の復興に合わせて発掘調査を行っておりますので、その発掘調査で出てきた内容の説明と合わせて、御風先生の昭和7年の復興の段階で、糸魚川小唄が御風作詞によって作られた背景などを、そのミニ講話で紹介させていただきました。

糸魚川歴史民俗資料館の展示の内容に関しましては、少しずつですが展示替えを行っているところです。また、来館者にはアンケートを実施しております。そのアンケートを参考にさせていただいて、その都度、来館者への説明等、向上に努めておりますところでございます。

図書館の展示の改善という点でございますけれども、学習室の御風コーナーをリニューアルさせていただいております。書架の一部分、御風に関する書籍が収められている部分がございます。また、貴重な資料につきましては、別の書棚に収めておりますところでございます。

御風宅と糸魚川歴史民俗資料館と図書館の入館者ですが、御風宅と歴史民俗資料館の入館者につ

きましては、増えていないという状況です。

ただ、歴史民俗資料館、御風記念館での企画展に限っていえば、昨年度の企画展より今年度の企画展にご来場していただいた方が多かったと。中でも白嶺高校の授業の中で、生徒からご来館いただいたのが非常によかったなというふうに思っております。企画展の来場者に関していえば、御風顕彰の理解は、深まったのではないかなというふうに理解しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

さきの一般質問でしたか、田中議員が文化施設の観光活用というようなことを触れておられたと思いますけども、全くそのとおりで、糸魚川にあるすばらしい資源としての相馬御風の様々な資料、これをやはりうまくプレゼンテーションして、外部、市外からもお客様を呼び込むという活用をしていただきたいという思いでおりますけども、今後の取組について伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

相馬御風宅におきましては、奥土蔵になりますけども、映像を見れる状態にしてございます。なかなか気候の関係もあって、今の段階では非常に寒い場所ではございますけども、とりあえずDVDで、以前テレビで放送していただいた「カチューシャの唄とヒスイの旅」という内容のものを、また、糸魚川町、旧糸魚川市の前進になりますけど旧糸魚川町の火災に遭ったときの移り変わりのDVD、また、相馬御風先生を紹介した「相馬御風のあゆみ」というDVDを御風宅で流したりして、御風の顕彰に今後も努めてまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

今、説明されたことを、市外から糸魚川に訪れる人というのは知るすべがないんじゃないかと思うんですね。そこら辺の取組、工夫していただきたいなと思います。

同じく駅周辺の施設をめぐる取組、これ4年前にご答弁いただいたことなんですよ。御風を感じるレトロな町屋めぐりも進めていくということだったんですけども、この点いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 茂君登壇〕

○教育次長（磯野 茂君）

お答えいたします。

御風宅のリニューアルを平成28年度に実施しておりまして、その完成とともに町屋めぐりの計

画を立て、地図等も作成しておったところでございますが、その直前の12月に大火が発生してしまいました。それで、本町通り等の古い町屋も焼失してしまっておることから、また、焼失してしまいましたけれども、今度復興が、ほぼ完了に向けて進められておりますので、また新たな視点からも復興した町並みをまた見ていただくという面も含めて、関係団体あるいは関係課と調整を進めていき、そのような町めぐりを進めていくようなプランを組み立てていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

今お話出ました糸魚川の大火と相馬御風、何か切っても切れないような形ですよ。この大火の歴史と御風の生涯について、もう一度伺いたいんですが、私は、さきの大火から市民が復興していくテーマが、ここにあるのではないかと思います。大火と御風と糸魚川小唄の関係が分かるDVDを作って、御風の関係施設や駅北広場で紹介する形がよいのではないかと考えますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

先ほどDVDを3つ紹介させていただきましたが、今、田原議員ご指摘の、大火と御風と糸魚川小唄の1本にしたDVDというのはありません。単発でつながっていないという形のものでございますので、その辺の、作れるかどうかというあたりは、今検討させていただきますけども、とりあえず駅北の復興に合わせまして、ご紹介できるようなチラシ等に対応できたらなというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

大火と御風と糸魚川小唄の関係、もう少し掘り下げて、皆さんもお考えいただきたいと思います。私これ、糸魚川市民が復興していく1つのテーマになっていくと思います。よろしく願いいたします。

もう一つ、御風の生涯と功績をアニメやコミック誌で紹介し、テレビなどのドラマ化を目指してほしいと、以前、担当課に提案したことがあります。いかがですかという、この点、改めて担当課に伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

御風の生涯について、ドラマ化とかアニメ化ができれば、非常によいことだというふうに考えております。現在、情報収集やドラマ化、アニメ化など、機会をうかがっている状況ではございます。また、御風の周年事業、例えば御風生誕140年とか、そういう事業に合わせて実現できたらいいのではないかなというふうな考えも持っております。

しかしながら、御風の全国的な知名度といたしますか、という面では、かなり難しいところもあるというふうに考えておりますので、合わせて御風の業績を広く周知する取組も検討していき、知名度の向上にも取り組んでまいりたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

早稲田大学や日本大学の校歌を作詞した人が、知名度が低いんでしょうかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

失礼しました。知名度が低いという認識は持っておりませんが、全国的な知名度という面では難しいという答えをさせていただきました。

ただ、早稲田大学の校歌を作詞、また、日本大学の校歌を作詞したということでおきましては、非常に大学関係者または大学のスポーツとかで非常に校歌が流れる機会が多ございますので、そういう機会に知名度はあるというふうに認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

知名度はあると思って、顕彰に取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いします。

御風の人生におけるハイライトについては、いろんな考えがあるでしょうが、島村抱月先生に才能を見出され、若干24歳で早稲田の校歌を作詞、その後、女優、松井須磨子さんが歌い、大流行したカチューシャの唄の作詞をし、活躍した時期でしょう。その後、抱月が亡くなり、須磨子が亡くなり、糸魚川へと帰ってくる悲惨な時期とのコントラストは、まさにドラマです。カチューシャの唄は、100年を経て、なお歌い継がれる日本の文化遺産です。知音都市交流先の各都市と早稲田大学に働きかけて、アニメ化、ドラマ化して、次の世代につないでいただきたいと思いますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

田原議員おっしゃるとおり、御風の生涯ではそのころの部分がドラマに向いているのかもしれま

せんけども、先ほどお答えしましたとおり、御風の功績を広く周知する取組は、大変重要だと思っておりますので、アニメ化やドラマ化など、実現できるような取組、または情報収集に努めて、今もそうですけども、機会をうかがってまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

機会をうかがってるだけじゃあチャンスは来ないですね。出かけていかないと、求めていかないと。磯野教育次長は、早稲田大学の稲門祭で有名なテレビ局、アナウンサーとのつながりができましたが、それは生かせないんでしょうかね。俳優の角野卓三さんとタレントの篠原ともえさんが出演した御風とひすいを紹介してくれた番組がありましたが、そのテレビ局とのつながりは、生かせないんでしょうかね、いかがですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 茂君登壇〕

○教育次長（磯野 茂君）

お答えいたします。

平成29年でしたか10月に稲門祭というOBが主催するイベントに御風さんのゆるキャラを連れて、御風のPRに努めてまいったところでありまして、その際に、稲門合唱祭という早稲田大学の校内にあるホールで行われたイベントにも参加させていただきまして、御風さんをその場で軽部さんの絶妙なトークとともにご紹介いただいたところでもあります。その後の、特に軽部さんとの個人的なつながりはないわけなんですけれども、軽部さんの所属されていたコール・フリーゲルという合唱団が活躍しておりますし、そのOBの団体もありますので、そのような活動の中から、つながりがまたできればいけるんじゃないかというふうに考えております。すぐに実現できるかどうかという答えにはなりませんけれども、そんなきっかけも大切にしていければというふうに考えております。

テレビ局のほうは、取材していただいて、有名なタレントからも出演していただいております。その映像も御風宅のほうで流させていただいておりますので、そういったつながりも生かしていけるように検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

タイミング大事だったと思うんですよね。テレビ局に売り込むチャンスだったんじゃないでしょうか。ちょっと残念な気がします。これからでもいいじゃないですか。ぜひともテレビでドラマ化、できれば朝ドラがいいですね。ぜひお願いしたいと思います。

さて、糸魚川小唄を市内の学校や公民館の行事で踊ることについて、教育委員会に伺いたいと思

います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

糸魚川小唄を歌ったり、踊っていただくことは、御風の顕彰にもつながっていくものというふう  
に思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

そのことをわかって質問してるんですよ。学校や公民館の行事で踊ることについて、積極的に取  
り組んだらいかがですかということ伺ってるんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

大変失礼いたしました。糸魚川小唄保存会の皆様が、現在、歌と踊りの伝承に努めておられます  
ので、その会の皆様と連携して、市内の学校や公民館などの場で、糸魚川小唄、歌と踊りが伝承で  
きる取組に取り組めればというふう考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

糸魚川小唄、市民の健康増進にも役立つと思います。市で進めている健康体操とセットで、この  
糸魚川小唄を復活していただきたいと思いますが、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

糸魚川小唄が収録されておりますCD、相馬御風名曲選というものを市内のいろんなところに配  
付しております。また、学校等も同じでございますが、そういうものをさまざまな場面で活用して  
いただければというふう考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

池田健康増進課長。〔健康増進課長 池田 隆君登壇〕

○健康増進課長（池田 隆君）

糸魚川小唄につきましては、今のところ直接、健康づくりに活用するというのは考えておりませ

んけども、軽運動またはリラックス効果、そういうものが期待できますので、例えば高齢者の教室、こういうことでの活用というのは考えられます。もし、活用するとすれば、そのような形で活用させていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

ありがとうございます。ぜひ取り組んでください。

では、短歌と相馬御風顕彰について、塩尻市、高岡市の短歌の活動とどのようにつながっていくのか。その際、糸魚川が果たす役割は、どのようなことと考えるか、担当課に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

今、お話に出ました塩尻市と高岡市につきましては、短歌の全国大会などで実績のあります先進的な市だというふうに思っております。当市でも相馬御風顕彰の短歌大会や俳句大会を実施しておりますが、その大会を多くの方から知っていただけるように、さらに塩尻市や高岡市の皆様に対しては、応募を働きかけるなどして、文化面でのつながりを進める必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

先進地の塩尻市民と高岡市民を糸魚川に招いて、短歌大会の開催はいかがでしょうか。短歌と御風で都市交流を進めていただきたい。米田市長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

現在、隔年ではございますが、糸魚川市で短歌大会、または俳句大会を実施しております。通常、今年度の場合、俳句大会でございまして、市民会館で開催いたしましたが、例えば市民会館や地域の公民館を利用するのではなくて、短歌の題材となるような場所、例えば市振周辺ですとか、能生の弁天岩周辺など歴史や文化、さらに景観など歌が詠める題材のある場所を会場として開催するというのも1つの工夫だというふうに考えておりますので、その辺をちょっと今後考えてまいりたいと。さらに、その中で塩尻市または高岡市の皆様からもお越しいただける工夫をしてみたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

そうするとジオパークの景観と短歌と御風がつながって、糸魚川に人を呼び込むことになりすけど、市長、ぜひ進めていただきたいと思いますが、市長、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

塩尻市とは、現在でも文化や芸術やスポーツ、観光という面で連携した交流を進めております。そういう関係もありまして、できる限り塩尻市の皆様には周知はしてまいりたいというふうに思っておりますし、さらに先進地であります高岡市の方々にも、大会の周知が行き届くようにしてまいりたいというふうに思っています。

開催につきましては、今後の検討だというふうに思っておりますが、糸魚川市で開催しております短歌大会、新年度は短歌大会になりますので、その辺の開催の方法を十分検討してまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

では、質問の3です。糸魚川駅を拠点とする観光戦略の2回目の質問です。トワイライトエクスプレスの活用について伺います。

現在、東京の六本木の森美術館で展示していますが、これまでどのくらいの入場者で、どんな方がこの展示を見ているのでしょうか。また、糸魚川で展示すれば、どんな人がどのくらいジオパルに来て、どのくらいの経済効果を生み出すか、分析し検討しましたか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

ただいま六本木で展示しておりますトワイライトエクスプレスの展示、特別展につきましては、去る2月25日に10万人を突破したというふうにお聞きしております、改めて広く観光客を引きつける観光資源であるというふう感じたところでございます。

当市における展示におきましては、経済効果までは算出しておりませんが、六本木では、内部に入ることができませんでしたので、当市に来た際には、特別時には、また中に入ってもらったり、飲食を楽しんでいただくことができないかということで、関係者と調整を行ってるところでございます。いずれにしても、市内の経済効果、経済循環につなげていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

私は、この質問のために六本木へ行って、糸魚川での展示について考えてきました。森美術館のように、お客様が満足してリピーターになっていただける展示と対応、お客様からの苦情が生じない展示と対応が、果たして糸魚川でできるか、期待はしますが、心配でもあります。担当課に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

車両の本体はもちろんのこと、車両の内部が非常にリアルに再現されておりまして、ほかでは味わうことのできない体験を提供できるものと考えております。先ほども申しましたが、車内をどういうふうに見せるか、また、車内でどういうことをして楽しんでいただけるかということに関係者と調整を行ってるところでありまして、なるべく特別時には、そういう対応ができるように、広く周知して集客に努めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

森美術館での展示と日本テレビの報道は、リゾート列車雪月花設計者の川西康之先生からの大きなプレゼントです。糸魚川での展示も、テレビ・マスコミで報道される大きなチャンスです。

しかし、チャンスはピンチでもあります。新しい戦略と対応が求められますが、いかがですか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

このトワイライトエクスプレスの設置によりまして、ジオパルにおけます鉄道関連の展示は、より一層充実することになりますので、糸魚川駅を中心に鉄道関連でございますので、JR西日本ですとか、えちごトキめき鉄道と連携しながら、多くの皆さんから来ていただけますようイベントですとかツアーの商品開発等も含めまして、誘客について対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

では、谷村美術館について伺います。

先週の日曜日、私は谷村美術館に行った折に静岡から来たご夫婦からバタバタ茶の泡のたて方を尋ねられ、とっさのことでしたが、それなりにバタバタとやっでご覧に入れました。それがきっか

けで、庭づくりが専門というご主人と話が弾み、庭を学びました。美術館を見て、庭を見て、ほっとした気分でバタバタ茶をいただくことができる谷村美術館は、糸魚川固有の文化、バタバタ茶の価値を伝えていく貴重な場所でもあります。ありますが、そうなるためのバタバタ茶のおもてなしの工夫を、さらに重ねていただきたいと思います。この点いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

バタバタ茶は、糸魚川市の文化の1つということで、非常に貴重なものと考えておりますが、近年、市内におきましてもバタバタ茶を飲める場所が少なくなってきておりまして、この玉翠園の喫茶コーナーにつきましても、飲める場所の1つであるというふうに考えておりますので、また、この喫茶コーナーでバタバタ茶を発信しまして、より一層、ご来館した皆様から、バタバタ茶を楽しんでいただけるような、そういう方法を考えてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

バタバタ茶の泡が大事なんですよね。あの泡を茶葉の中でバタバタとやっつて、クリーミーな泡をたくさんたてないとおいしくないですよ。谷村美術館のバタバタ茶飲んだことありますか。もう一工夫欲しいなと思ったんです。それで、谷村美術館でのバタバタ茶をたてている動画、これを市のホームページに上げたらと思うんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

非常におもしろい提案であると思いますし、また、有効だと思いますので、スタッフとまた検討させていただいて、前向きに取り組んでいきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

HAKUBA VALLEYとの観光連携の現状と課題を担当課に伺います。あわせて、HAKUBA VALLEYへの入込客数、インバウンドの内訳、消費動向など分析してありますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

HAKUBA VALLEYとの観光連携につきましては、日本海と山岳リゾートを結ぶ大変重要なものと考えておりました、これまでも北アルプス日本海広域観光連携会議を初め、シーフードシャトルバスの取組によりまして、連携してきたところでございます。今後は、グリーンシーズンを含めた通年観光での連携を進めるために協議をしているところでございます。

HAKUBA VALLEYへのスキー場への昨年度の入込客は約154万人とお聞きしております、そのうちの約4分の1がインバウンドであると把握しております。特に滞在期間の長いオーストラリアの方は、レンタカーによりまして、当市のスキー場や道の駅等にも立ち寄っていただいているとお聞きしているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

HAKUBA VALLEYの観光関係の資料を紹介します。

1つは、HAKUBA VALLEY9か所のスキー場の来場者のベース、こちらです。

それともう一つは、HAKUBA VALLEYシーズンパス購入者の国別・居住地別の情報、これは担当課にもお渡ししてありますが、糸魚川の観光の取組と比較して、担当課はどう思われますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

HAKUBA VALLEYを構成いたします大町市、白馬村、小谷村は、共通するスノーリゾートというテーマの下にHAKUBA VALLEYというブランドを掲げまして一体的な取組を進められており、インバウンドの獲得をはじめ、成果を上げられているものと思っております。

当市におきましても、より広域的な観点に立ちまして、HAKUBA VALLEYエリアにはない、海をキーワードとして連携した取組を進めていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

その点は、大変結構なんですけど、そもそも担当課や関係団体で、HAKUBA VALLEYの現地を見てますか。シーフードシャトルバスに乗っていますか。皆さんからの話を聞いてきていますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

白馬村の観光局にはお伺いして、お話を聞いたことがございますし、シーフードシャトルバスに

は、乗ったことはありませんが、発着地で降りてくる方の様子ですとか、お話を聞いておるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

観光できるHAKUBA VALLEYのように、毎年、毎月の状況をデータ化し、次の戦略を練る。糸魚川でいえば、新幹線駅を拠点とした周辺観光施設、鉄道ジオラマ、フォッサマグナミュージアム、長者ヶ原縄文遺跡、谷村美術館、ヒスイ海岸、ヒスイ王国館、駅周辺飲食店、HAKUBA VALLEYとの観光連携の状況をデータ化し、常に新しい戦略を考えていますか。どのようなお客様が、どこから何人来て、幾ら消費していくか、駅周辺、観光施設の入込客数、入館料、使用料、飲食代、書籍販売、お土産販売など調査し、まとめてありますか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市内の観光動態につきましては、糸魚川ジオパーク観光動態調査ということで毎年集計をしているところでありますけども、今お話のありました細かなデータにつきましては、まだ不足している部分もございますので、引き続き、DMO法人であります糸魚川市観光協会とも連携しながら、データの収集を進めるとともに各種の取組を進めてまいらなければならないというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

必要があるのはわかってるんですよ。やってるかどうかなんです。その点お聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

まだ情報の収集ですとか分析で不足している部分が多数ございます。今、市内の宿泊施設でも、また新たな宿泊客のデータもとり始めているところがございますし、この辺につきましても内容を充実しながら、データの収集・分析を進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

私が一番気になることは、糸魚川では誰が戦略をつくり、誰が実行し、どのような成果を出したのかわからない。いつ、どこに、どんな人たちがどのくらい観光に来て、それで経済効果が幾らな

のかわからない。地域経済の好循環を生むために、何をどのように改善していこうとしているのかわからない。行政の過去の答弁は、やれベクトル合わせだとか、資源のブラッシュアップだ、地域連携だとおっしゃるが、観光の実態が見えてこないんですよ。これどうしてですかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

今後とも稼げる観光地域づくりを行うためには、DMO法人であります糸魚川市観光協会が観光戦略のかじ取り役になり、進めていく必要があると考えております。それにおきまして、行政は行政の役割を、また、それぞれの事業者は、それぞれの事業者の役割を果たしながら、みんなが一体的になって取り組んでいく必要があると考えておりまして、それを目指して進んでいるところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

行政だけでやれるもんじゃないですから、官民連携で役割分担をしていく、これは大事なことですよね。

しかしながら、問題は、観光振興策の責任者が誰なのかわからないということなんですよ。これどうしてでしょうかね、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

現在、観光企画に関する部門につきましては、市の商工観光課で行っておりまして、そのプロモーションですとか誘客宣伝に係る部分につきましても、商工観光課と観光協会、それぞれで行っている部分がございますので、この部分につきましては整理をして、効率的で効果的な観光行政ができるようにしていく必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

HAKUBA VALLEYとの観光連携を進めることで、糸魚川の観光も変わってほしいと私は思います。特に駅周辺施設を生かした観光戦略が重要です。これは大糸線の存続や、えちごトキめき鉄道の利用増大と連なる糸魚川観光の大きな課題と捉えていただきたいと思います、その点を市長に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

糸魚川駅を中心としまして、今言われたHAKUBA VALLEY方面に伸びる大糸線、また日本海に沿って走るえちごトキめき鉄道、もちろん北陸新幹線の停車駅でございますので、この新幹線駅を拠点として市内への周遊を高めたり、町なかへの回遊を促す取組によりまして、それによって地域内の経済循環が高まるものと思っておりますし、また高めていかなければいけないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

田原議員。

○9番（田原 実君）

今回の質問で取り上げました鉄道ジオラマとトワイライトエクスプレス、フォッサマグナミュージアムと長者ヶ原縄文遺跡、谷村美術館、押上新駅とヒスイ海岸、ヒスイ王国館と駅周辺飲食店の活用、HAKUBA VALLEYとの観光連携、それをつなぐ公共交通の利便性向上、そしてくろひめ号の走行にも本気で取り組んでいただければとも思います。これらの取組で、多くの観光客を招き入れ、地域経済に好循環を出し、駅北大火からの復興まちづくりを進めていただきたい。いま一度、私からの訴えとさせていただきます。

以上で質問を終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、田原議員の質問が終わりました。

次に、五十嵐健一郎議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐議員。〔19番 五十嵐健一郎君登壇〕

○19番（五十嵐健一郎君）

清政クラブの五十嵐健一郎でございます。

事前に通告いたしました通告書に基づきまして、1回目の質問をさせていただきます。

1、総合計画策定事業の取組について。

清政クラブでは、夏に長野県飯田市のいいだ未来デザイン2028、いわゆる飯田市総合計画について調査してきました。その中の1つに、地域人教育による人材サイクルの構築では、地域人教育を受けた若い人の人生設計において、地域を学び、地域に愛着を持った若者は、高校を卒業しても地域との関係を持ち続け、やがて子育て世代になる頃には、自分の子供は自分のふるさとで育てたいと考えて帰郷し、地域を担う人材となる。その子供たちも地域人教育を受け、一旦はこの地を離れても、子育て世代になる頃には帰ってくる。こうした人材サイクルが構築されることで、地域には子供たちから年配者まで、多世代が住み続け、持続可能な地域が創出されるとあります。

いろいろまだありますが、そこで以下、項目によりお伺いいたします。

(1) 従来の総合計画における取組状況と目標設定項目の進捗状況及び問題点について伺います。

(2) 策定スケジュールについて伺います。